
平成31年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成31年2月22日

質問者（質問順）

- 1 藤代哲夫委員（自民党）
- 2 高橋徳美委員（自民党）
- 3 木原幹雄委員（民権フ）
- 4 斎藤真二委員（公明党）
- 5 白井正子委員（共産党）

医 療 局
医療局病院経営本部

局 別 審 査

1 藤代哲夫委員（自民党）

1 病院事業会計における 31 年度予算について

- (1) 31 年度予算編成に対する病院事業管理者の所感を伺いたい。
- (2) 現在の直営 2 病院の経営状況について伺いたい。
- (3) 市民病院長の 31 年度の病院経営に対する所感を伺いたい。
- (4) 脳卒中・神経脊椎センター病院長の 31 年度の病院経営に対する所感を伺いたい。
- (5) 市の医療政策における市立病院の役割について伺いたい。

2 市民病院再整備について

- (1) 交通アクセス
 - ア 三ツ沢上町駅や市民病院下バス停を利用していた方のアクセス確保について伺いたい。
 - イ 神奈川区北西部からのアクセスを改善すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 災害拠点病院としての地域との連携
 - ア これまでの災害拠点病院としての地域の住民・関係施設との連携の取組について伺いたい。
 - イ 新病院における近隣地域との災害に備えた関係づくりについて伺いたい。
 - ウ 都市型災害などにおいて果たす役割について伺いたい。

3 市立病院の医療人材確保について

- (1) 30 年度の看護師・医療技術職員採用選考の実施状況について伺いたい。
- (2) 応募者の確保に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 応募者の増加に向けた今後の取組について伺いたい。
- (4) より優れた医療人材育成のための取組について伺いたい。

4 市民病院の先進医療・治験（がん対策）について

- (1) 市民病院における治験の状況について伺いたい。
- (2) その他の先進的な取組について伺いたい。
- (3) 今後の取組について伺いたい。
- (4) 現在の周知方法と今後の予定について伺いたい。

5 病床機能の確保について

- (1) 病床整備事前協議の応募状況について伺いたい。
- (2) 病床の配分は地域バランスを考慮して進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 病床整備の進め方について伺いたい。
- (4) 病床機能の確保に向けた今後の見通しについて伺いたい。

6 救急医療体制について

- (1) 小児の救急搬送の状況について伺いたい。
- (2) 救急相談センター（# 7 1 1 9）の実績と効果について伺いたい。
- (3) 救急相談センター（# 7 1 1 9）の課題について伺いたい。
- (4) 救急相談センター（# 7 1 1 9）の広域化に向けた今後の取組について伺いたい。
- (5) ドクターカーシステム整備の狙いについて伺いたい。
- (6) ドクターカーシステムの今後の展開について伺いたい。

2 高橋徳美委員（自民党）

1 ICTを活用した地域医療連携ネットワークについて

- (1) 市全体で一つの情報システムではなく、地域ごとの構築を想定している理由について伺いたい。
 - (2) 地域ごとのネットワークを連携するための政策的な関わり方について伺いたい。
 - (3) サルビアねっとの参加施設状況と運用時の財源について伺いたい。
 - (4) 神奈川県との調整状況について伺いたい。
- (要望) 神奈川県や国をリードしながら、着実に推進していただきたい。

2 Tele-ICU体制整備支援事業について

- (1) Tele-ICUの狙いについて伺いたい。
- (2) 31年度の実施概要について伺いたい。
- (3) 将来の展望について伺いたい。

3 周術期の口腔ケア、障害児・者に対する高次歯科医療等の歯科保健医療の推進について

- (1) 周術期の口腔ケアに関する啓発の実施について伺いたい。
- (2) 誤嚥性肺炎対策の具体的な実施について伺いたい。
- (3) 障害児・者に対する高次歯科医療の今後についての考えを伺いたい。

4 脳卒中・神経脊椎センターにおける経営改善に向けた実施について

- (1) 直近の稼働状況について伺いたい。
- (2) 経営改善の効果がなかなか出ない理由について伺いたい。
- (3) 膝関節疾患の患者確保に向けた具体的な方策について伺いたい。
- (4) 地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟の利用率向上に向けた実施について伺いたい。

(要望) 環境科学研究所の跡地整備の際に、歩道も整備していただきたい。

5 心臓リハビリテーションの推進について

(1) 心臓リハビリテーションの必要性について伺いたい。

(2) 心臓リハビリテーションの取組体制及び見込まれる効果について伺いたい。

6 総合的ながん対策におけるアピアランスケア等の患者支援の取組について

(1) 乳がん対策の取組について伺いたい。

(2) アピアランスケアについての基本的な考え方を伺いたい。

(3) アピアランスケア支援の取組について伺いたい。

(4) がん患者の治療と仕事の両立に向けた取組について伺いたい。

(5) 若年の末期がん患者の抱える課題と今後の取組について伺いたい。

7 小児がん患者と家族等への支援について

(1) 小児がん患者の家族が抱える課題と取組について伺いたい。

(2) こどもホスピスの役割について伺いたい。

(3) 国内外での先行事例について伺いたい。

(4) 世界こどもホスピスフォーラム開催の意義について伺いたい。

(要望) 横浜でしかできない支援を行っていただきたい。

3 木原幹雄委員（民権フ）

1 心の緩和ケアについて

- (1) ビッグデータの分析による緩和ケアの現状について伺いたい。
- (2) 医療機関における心の緩和ケアの取組について伺いたい。
- (3) 本市における心のケアに対する支援策について伺いたい。
- (4) 多様な人材で心の緩和ケアを行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 課題解決に向けた今後の方向性について伺いたい。

2 医療的ケア児・者等への医療提供体制について

- (1) メディカルショートステイ事業への医療機関の参加状況について伺いたい。
- (2) 協力医療機関を増やしていく今後の取組について伺いたい。
- (3) 施設職員の理解を深めるための医療局の取組について伺いたい。
- (4) 小児訪問看護師を確保するための取組について伺いたい。
- (5) 災害時における人工呼吸器を使用している医療的ケア児・者等の対応について伺いたい。
- (6) 医療的ケア児・者等の災害時対応の実効性を高める取組について伺いたい。

3 市民病院の外来診療について

- (1) 外来患者の動向についての評価を伺いたい。
- (2) 外来患者縮減に向けた取組について伺いたい。
- (3) 新病院における待ち時間の縮減や患者の負担軽減に向けた取組について伺いたい。

4 残薬解消に関する取組について

- (1) 残薬問題の現状認識について伺いたい。
- (2) 残薬解消に関する国の取組について伺いたい。
- (3) 残薬解消に関する医療面の取組について伺いたい。

5 在宅医療の人材確保について

- (1) 在宅医療需要の推計について伺いたい。
- (2) 在宅医の現在の状況と2025年の必要数について伺いたい。
- (3) 2025年に向けた在宅医の確保対策について伺いたい。
- (4) 訪問看護師の充足状況について伺いたい。
- (5) 訪問看護師の確保対策について伺いたい。

6 看護職員の人材確保について

- (1) 2025年に向けた看護職員の需給見通しについて伺いたい。
- (2) 市内病院における看護職員の採用状況について伺いたい。
- (3) 市内病院における看護職員の確保の課題について伺いたい。
- (4) 市内病院における看護職員の確保への取組について伺いたい。
- (5) 看護職員への働きかけについて伺いたい。

4 齋藤真二委員（公明党）

1 みなと赤十字病院におけるアレルギー疾患医療について

- (1) 神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院としての今後の取組を伺いたい。
- (2) 相模原病院やこども医療センターとの連携について伺いたい。
- (3) アレルギーセンター常勤医の補充の見込みについて伺いたい。
- (4) 引き続き、みなと赤十字病院をしっかりと支援していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 脳卒中・循環器病対策基本法の成立を受けての本市の取組について

- (1) 本市におけるこれまでの脳血管疾患の救急医療体制について伺いたい。
- (2) これまでの救急医療体制の成果について伺いたい。
- (3) 基本法の成立を受けての今後の方向性について伺いたい。
- (4) 基本法の成立を受けての学会における現在の具体的な検討状況について伺いたい。
- (5) 脳卒中・神経脊椎センターが今後担っていく役割について伺いたい。

3 災害時医療体制の整備について

- (1) 医療救護隊の現在の体制について伺いたい。
- (2) 医療救護隊の訓練等の取組について伺いたい。
- (3) 医療救護隊の装備の充実について伺いたい。
- (4) 昨今の災害で見えてきた課題とそれを受けての対応について伺いたい。
- (要望) 災害時に多様化する医療・保健・介護ニーズに対応するため、行政が先導し、体制の整備を図っていただきたい。

4 医療・ケアについての「もしも手帳」について

- (1) 現時点の反響について伺いたい。
- (2) 今後の啓発方法について伺いたい。

(3) 人生の最終段階の医療やケアについて、市民の皆様を支援できる医療・介護職の育成・確保について伺いたい。

5 総合的ながん対策の推進について

(1) 横浜市乳がん連携病院指定の目的について伺いたい。

(2) 指定による効果について伺いたい。

(3) 乳がんの市民啓発について伺いたい。

(4) 小児がん対策のこれまでの取組について伺いたい。

(5) AYA世代のがん対策の今後の方向性について伺いたい。

(要望) 横浜市がん撲滅対策推進条例の趣旨に則り、総合的ながん対策を推進していただきたい。

5 白井正子委員（共産党）

1 必要病床数の確保対策の確実な執行について

- (1) 7000床不足とされたのに29年度まで病床配分しなかった理由を伺いたい。
 - (2) 25年度と27年度に配分した病床の機能別整備状況について伺いたい。
 - (3) 配分病床の返上により、整備ができなかったということか。
 - (4) 次の配分時に、返上された病床数を加えて募集したのか。
 - (5) 3300床不足と算出した在院日数を基準にすることで、患者さんの追い出しにつながらないか懸念されるが、見解を伺いたい。
 - (6) 30年度に配分する855床の整備の実効性について伺いたい。
 - (7) 病床確保に向けた調査の内容及び結果の活用方法について伺いたい。
 - (8) 市内事業者からの応募状況について伺いたい。
 - (9) 病床整備は市内の医療関係団体からの声もしっかりと聴きながら行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (10) 回復期・慢性期病床のこれまでの増加数について伺いたい。
 - (11) 慢性期から回復期へ転換する例も少なくないが、このような転換が進むと慢性期がさらに不足するのではないか。
 - (12) 川崎で医療ツーリズム専用病院が開院し、県の病床の一部が割かれることで横浜市内の病床整備や地域医療に影響があるのではないか。
- (要望) 本市は、地域医療の確保に責任を持つ立場から、市民の方がいつでも必要なときに医療にかかれる仕組みに影響が出ないように、防波堤となっていただきたい。

2 新市民病院の差額ベッドの減室について

- (1) 差額個室を全病床の27.4%に増やす基準について伺いたい。
- (2) 差額室料が徴収できる病床を基準に近い水準まで増やすのは過剰ではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 差額個室が増えると入院しづらくなるなど市民の方の不利益となり、公立病

院としてふさわしくないのではないか。

(4) 現病院及び新病院の差額室料を徴収しない個室の数について伺いたい。

(5) 差額室料を徴収する個室とそれ以外の個室の設えの違いについて伺いたい。

(6) 昨今の社会情勢を踏まえ、差額室料を徴収しないベッドの割合を増やすよう見直しをすべきと考えるがどうか。

(7) お金の有るなしでサービスに差をつけることは、公的病院としてふさわしくない。低所得者が行き場を失うことになると思うがどうか。